



平成 27 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社コーセー
代表者名 代表取締役社長 小 林 一 俊
(コード番号 4922 東証第 1 部)
問合せ先 I R 室長 中 田 仁 典
(TEL 03-3273-1511)

群馬工場の新生産棟建設に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、群馬工場敷地内（群馬県伊勢崎市）に、新たな生産棟を建設することを決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

1. 群馬工場 新生産棟の建設目的

現在、当社は中期経営計画の実現に向け積極的な事業展開を進めています。

今後の売上拡大に伴う生産量増加への対応、多様化するお客様のニーズに対応した多品種少量生産の効率的運用、および狭山生産設備の老朽化対策として、生産体制の再編を行い、中期経営計画の達成を目指します。

また、海外事業の拡大に向け、今回再編する群馬工場を、国内・海外の生産拠点のマザー工場と位置づけます。各生産拠点のフレキシブルな活用により、高品質で競争力の高い製品の確実でタイムリーな提供と、在庫・コストの低減等により、さらなる経営基盤の強化に繋がっていきます。

2. 群馬工場 新生産棟の概要

建設予定地	株式会社コーセー 群馬工場内（群馬県伊勢崎市境伊与久 1913）
延床面積	18,666 m ²
階数	地上 3 階建
生産品目	化粧品
生産能力	年間 4,500 t、 3,000 万個
投資額	60 億円
稼働予定	2017 年上期

3. 群馬工場 新生産棟の特徴

今回建設を決定した新生産棟は、製品タイプ毎に生産ゾーンを分け、それぞれを管理することにより、化粧品 GMP に準拠した生産環境を構築し、万全な品質保証体制に結びつけていきます。

棟内の諸室は生産工程順にコンパクトに集約し、動線のワンウェイ化を図ります。また、上下の動線は自動化設備を活用し、物流・マテリアルハンドリング効率の向上を図り、自動化ライン等とあわせ生産性の向上を実現します。

配置する設備は、化粧品の特徴である多品種少量生産に特化したものを中心に、今後の製品の変化や生産の拡大にも柔軟に対応可能な、フレキシブルなレイアウトを想定しています。また、自社独自の技術を活用し、特に高付加価値製品の生産を中心に、市場のニーズにスピーディに対応可能な工場を目指します。

なお、群馬工場の既存の生産棟は、コスメタリー製品を中心に、今後も生産を継続する予定です。

また、2012 年に導入済みのエネルギー総合効率に優れたコージェネレーションシステムを群馬工場全体で活用して CO2 排出量を低減するなど、環境負荷低減への取り組みを続けます。

4. 今後の見通し

対象設備の稼働開始予定が 2017 年 4 月以降のため、今期業績への影響はありません。

以上

[参考資料]

株式会社コーセー 主要生産拠点

■群馬工場

所在地 群馬県伊勢崎市境伊与久 1913
稼働 1979年（昭和54年）
敷地面積 88,987 m²
生産品目 化粧品・コスメタリー製品

■狭山工場

所在地 埼玉県狭山市富士見 2-20-1
稼働 1964年（昭和39年）
敷地面積 106,161 m²
生産品目 化粧品

海外生産拠点

■高絲化粧品有限公司 下沙工場（中国）

所在地 杭州経済技術開発区 11号大街 2号
稼働 2,000年（平成12年）
敷地面積 30,402 m²
生産品目 化粧品

■台湾高絲股份有限公司 新竹工場（台湾）

所在地 新竹県新竹湖口工業区工業4路6号
稼働 2004年（平成16年）
敷地面積 7,173 m²
生産品目 化粧品



新生産棟イメージ図